



「場・人・もの」  
が積み重ねたり、  
広がっていく



知的障害のある  
児童生徒のための

## 場・人・ものマトリックス

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」の積み重ねや広がりをキャリア発達段階と組み合わせ示しています。具体的な事物は、学部(キャリア発達段階)を考慮して例示しています。児童生徒の実態、学校や地域の実情で取り入れられないもの、他学部(学校)のものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場・人・もの」を考慮して、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動を設定しましょう。

学部	小学部(小学校)	中学部(中学校)	高等部(高等学園)
キャリア発達段階	職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期	職業及び生活に関わる基礎的な能力を土台に、それらを統合して働くことに応用する能力獲得の時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要な能力を実際に働く生活を想定して具体的に適用するための能力獲得の時期
学習活動の設定では場面設定の工夫へ	職業	作業や進路に関わる人	職場実習, 就労に関わる人
		手伝いや役割, 仕事について知るために関わる人 家族, 友達, 学校内の教師, 働く人 など	作業学習の担当教師や仲間, 職場見学先の担当者, 働いている卒業生, 販売相手, 客, 生産者 など 職場実習先の担当者, 一緒に働く人, 納入先の人, 就労に関する支援者, 進路担当者 など
	経済	消費生活に関わる人	経済生活に関わる人
		買い物に関わる人 店員 など	販売会場担当者, 客 など 金融機関の人 など
	余暇	興味・関心や適性に応じて関わる人	余暇を有効に過ごすために関わる人
		遊びに関わる人 家族, 友達, 教師, 習い事や放課後等デイサービスで出会う人(友達, 指導者, 職員) など	共通の趣味を持つ友達, 趣味で訪れる場にいる人, 部活動の人, SNSを介して関わる人 など 余暇で訪れる場にいる人, 一緒に活動する人(支援者), 一緒に楽しむ仲間 など
地域	地域参加や安全で関わる人	よりよい地域生活, 福祉に関わる人	
	身近な地域で関わる人 居住地の近隣の人(隣近所, 子ども会), 医師, 日常生活に関する支援者, 交流先の友達 など	公共施設の職員, 学校の近隣の人, 地域の活動と一緒に活動する人(町内会), ボランティアで関わる人 など 居住地域の異年齢の人(役場職員, 相談支援員) など	
家庭	家庭生活を営む上で関わる人 家族, 養育者, 親戚 など		

【参考】知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス(試案)」国立特別支援教育総合研究所